

特に重要
しっかりおぼえて!

1段階 履修番号(3)例題とポイント

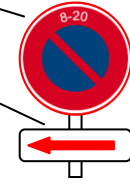
ポイント



〈標識・標示などに従うこと〉

本標識

補助標識




駐車禁止

ここで
終わり

1. 標識・標示の種類と意味 教本P30~47


重要 本標識と補助標識の2つに分類されます。
 本標識は、規制標識、指示標識、警戒標識、案内標識の4種類あります。
 標示は、規制標示、指示標示の2種類です。

重要



「**車両通行止め**」
 車は通行できません。
 つまり、原動機付自転車や軽車両も通行できません!

重要




「**車両進入禁止**」
 一方通行の出口などに
 設けられており、車は進入できません。

重要




「**一方通行**」
車は、矢印の示す反対方向には進めません。 **重要**

重要



「**二輪の自動車以外の自動車通行止め**」
 二輪の自動車は通行できるがその他の自動車は通行できない。

重要




「**指定方向外進行禁止**」
 車は矢印の方向以外進行禁止。
 (右折禁止)

重要



「**進行方向別通行区分**」
 交差点で進行する方向別の通行区分を示します。

重要



「**車線数減少**」
 車線の数が少なくなることを知らせています。


重要



「**幅員減少**」
 道幅が狭くなることを知らせています。

重要

横断歩道では、ありません!!




「**歩行者専用**」
 車は、(自転車もダメ)
 歩行者専用道路を通行してはいけません。

重要




「**自転車及び歩行者専用**」
 歩行者と自転車だけが通行できる
 (原付、自動車はダメ)

重要



「**転回禁止**」
 車は、転回してはいけません。


重要




「**追い越しのための右側の部分はみ出し通行禁止**」
 車は道路の右側部分にはみ出して追い越してはいけません。

重要

右折禁止では、ありません!!




「**車両横断禁止**」
 車は、横断してはいけません。




右折禁止はこれ!

重要




「**駐停車禁止**」
 車は、駐車や停車をしてはいけません。
 (当然、原付も駐停車禁止)

重要




「**駐車禁止**」
 車は、駐車をしてはいけません。
 (当然、原付も駐車禁止)


重要



「**止まれ**」
 車や路面電車は交差点の直前(停止線があるときはその直前で一時停止しなければならない。(必ず停止))



「原動機付自転車の右折方法(二段階)」
原付は、二段階で右折しなければならない。
原付の二段階右折



「原動機付自転車の右折方法(小回り)」
自動車と同じ右折方法で右折する。二段階右折をしなくてもよい。




「横断歩道」
横断歩道であることを示します。

重要



「自転車横断帯」
自転車の横断帯であることを示します。




「安全地帯」
安全地帯であることを示します。




「優先道路」
優先道路であることを示します。


重要



「自動車専用」
高速自動車国道や自動車専用道路であることを示します。



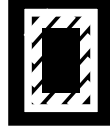
「路線バス専用通行帯」
路線バス。専用通行帯であることを示します。
(小型特殊自動車、原付、自転車は通行できる。)



「十字道路交差点あり」
十形道路の交差点あり



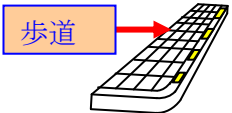
「学校、幼稚園、保育所あり」



「停止禁止部分」
車と路面電車はこの標示の中に入って止まてはいけません。



「立ち入り禁止部分」
車は、この標示の中に入ってはいけません。



「駐車禁止」
車は、駐車をしてはいけません。



「駐停車禁止」
車は、駐車も停車もしてはいけません。



「前方優先道路」
前方の道路が優先道路であることを予告をしめします。



「横断歩道または自転車横断帯あり」
前方に横断歩道や自転車横断帯があることを示します。

- 2、警察官の指示
- ・混雑緩和の措置
 - ・緊急時の措置



警察官が信号や標識、表示と異なる指示をしているときは、警察官の指示に従わなければなりません。